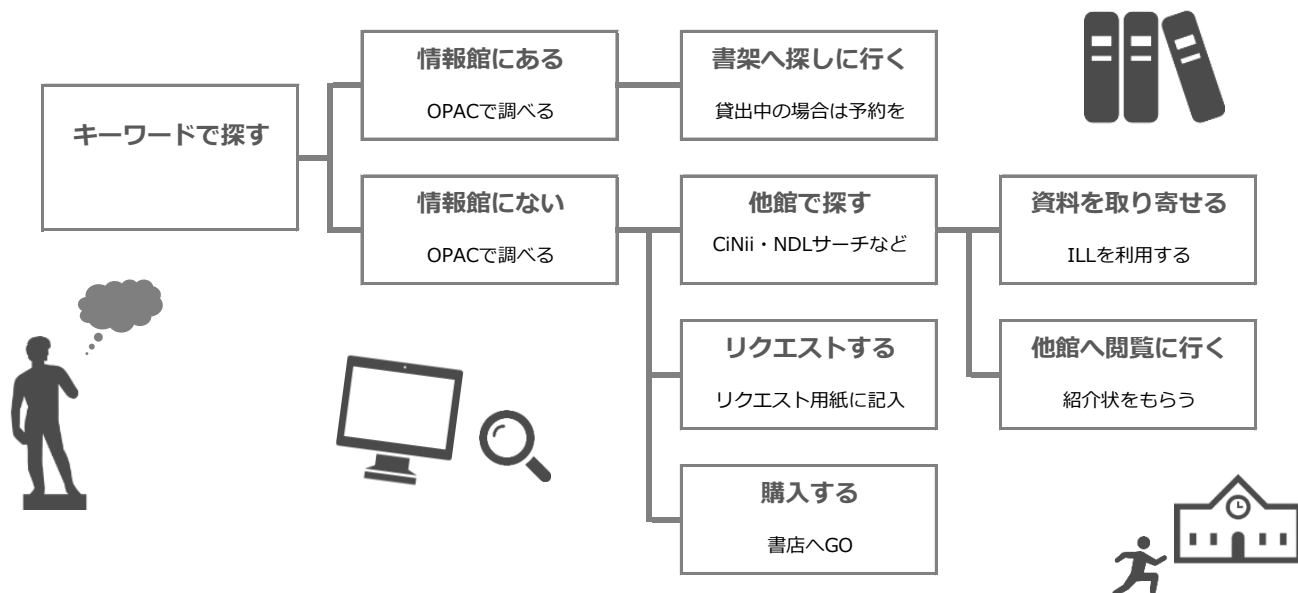


1.本の探し方の流れ



2.データベースで図書を探す・見つける

データベースを利用して、キーワードから関連する図書を検索することができます。

これから紹介するデータベースは、インターネット環境があればどこからでもアクセス可能です。



<https://ci.nii.ac.jp/books/>

■ CiNii Books

・内容

CiNii Booksでは全国の大学図書館等が所蔵する本（図書や雑誌等）の情報を検索できる。

検索機能は比較的シンプルで使いやすい。

・特徴

所蔵館のOPACや他のデータベースへのリンクがあり、次の情報につながりやすい。図書を所蔵している大学図書館が一覧で表示されるので、資料の取り寄せや他館へ閲覧に行く際の参考することができる。



<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>

■ 国立国会図書館サーチ(NDLサーチ)

・内容

国立国会図書館サーチ（NDL Search）では、国立国会図書館が所蔵する資料の全てを探すことができる。

都道府県立図書館、政令指定都市の市立図書館の蔵書、国立国会図書館や他の機関が収録している各種のデジタル情報なども探すことができる。

・特徴

「国立国会図書館デジタル化資料」のうち、インターネットで本文画像を閲覧できる図書・雑誌は、「近代デジタルライブラリー」として公開されている。

フリーワード

検索

詳細検索

京都府図書館総合目録について

京都府図書館総合目録ネットワーク(K-Libnet)に参加する、京都府内の図書館等の所蔵資料（図書・雑誌・新聞／府立図書館電子書籍）を、分散型総合目録（横断検索方式）と集中型総合目録（データ提供方式）とを併用した総合目録を利用し、一括して検索することができます。
※複数の方式を併用していますので、検索結果に多少のばらつきが生じます。
※この画面は図書検索画面です。雑誌・新聞の検索は、[こちら](#)をご利用ください。

[K-Libnet参加館一覧（検索対象館一覧）](#)

検索の結果、見つかった図書や雑誌を閲覧したいときは、普段利用されているお近くの図書館で相談ください。詳しくは、「[お探しの図書や雑誌などをご利用いただくには](#)」をご覧ください。

<https://www.library.pref.kyoto.jp/cross/cross.html>

■ 京都府図書館総合目録(K-Libnet)

・内容

京都府図書館総合目録ではK-Libnetに参加する京都府内の公共図書館や大学図書館などの所蔵資料を、複数の方式を併用して検索することができるデータベース。公共図書館の所蔵資料であれば、取り寄せることも可能。

・特徴

京都府立図書館をはじめ、京都市図書館ならびに一部の府内大学図書館や一部機関の所蔵資料を検索することが可能。自宅近くの公共図書館に所蔵が確認できれば、直接閲覧に行くか、情報館へ取り寄せるか、さまざまな利用方法が選択可能。

■ World Cat

・内容

アメリカのOCLC（Online Computer Library Center）が提供する世界最大の書誌データベース。図書・雑誌・楽譜・地図・録音資料・視聴覚資料等が収録されている。北米を中心とした世界各国10,000以上OCLC加盟館の所蔵情報を調べることが可能。

・特徴

和書や和雑誌については、日本語で検索することもできるが、国内の図書館が全て加盟しているわけではないため、和書を網羅的に検索するには、CiNii Booksや国立国会図書館サーチなどと併用して使用する必要がある。



<http://www.worldcat.org/>

3.探している図書が決まったら

探している図書が見つかったら、図書入手する方法を考えましょう。

情報館に目的の図書があるかどうか調べたいときは「OPAC」を利用します。⇒「おたすけガイド02：OPAC入門編」
情報館に探している図書がないときは、ILLサービスを利用して図書を取り寄せたり、他館へ閲覧に行ったりすることができます。申し込みは情報館2F図書カウンターまで。

もっと資料を集める

データベースやOPACでの検索以外にもこんな方法で図書を探することができます。

■ ブラウジング

ブラウジングとは実際に閲覧室を歩いて回り、あれこれ資料を手にとってみることを言う。情報館では図書はジャンルごとに並んでいるので、一冊気に入った本が見つければ、その本が置かれていた周辺の書架を見ることで、検索ではヒットしなかった関連図書が見つかる可能性がある。

■ 参考文献・参考図書を参照する

図書の巻末に、参考文献や参考図書として載っている図書を探してみよう。出典となる図書や、先行研究の文献などに会えるかもしれない。



ILLサービスのご紹介

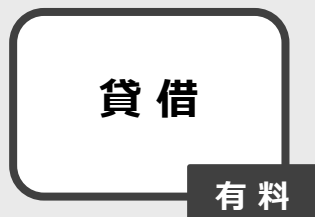
ILLとは図書館相互貸借（Inter Library Loan）のことをいいます。

利用したい資料が情報館に無い場合、ILLサービスを使って他の図書館の資料を利用することができます。

ILLサービスには「貸借」、「複写」、「他館閲覧」という3つの利用方法があります。

2F図書カウンターにて受け付けています。 ※ 京都精華大学の学生・教職員の方を対象としたサービスです

実際に図書を手に取って見てみたいときや、中身を見てから複写するか決めたいときは…

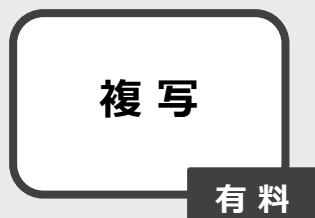


▶ 本を取り寄せる

※ 取り寄せには10日～2週間ほど（状況によってはそれ以上）

- ・貸出は不可。情報館内でのみ利用可能。
 - ・閲覧期間は2～3週間（目安）。
 - ・コピーを希望する場合は、スタッフによる代行複写になる。
- ※ 料金は白黒1枚40円、カラー1枚80円。 ※ 資料によってはコピー不可の場合もある。

雑誌や論文など決まったものを入手したいときは…

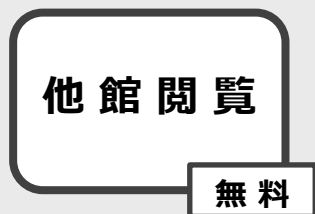


▶ 本や雑誌のコピーを取り寄せる

※ 取り寄せには10日～2週間ほど（状況によってはそれ以上）

- ・コピーは著作権の範囲内に限る。
- ・料金は見開き一枚白黒 ¥ 40～50、カラー ¥ 100～120が目安。
- ・別途送料等がかかる。

すぐに資料が見たいときは…



▶ 他の大学図書館へ閲覧に行く

※ 他の大学図書館へ閲覧に行く際は紹介状、共通閲覧証、学生証などが必要

- ・他大学の図書館を利用するのに必要な紹介状を発行（即日発行不可）。
- ・私立大学図書館協会の加盟館利用に必要な共通閲覧証を貸し出し。
- ・閲覧したい大学図書館の開館日程をHPなどで確認する必要がある。



大学コンソーシアム京都を利用して他館閲覧へ行く

大学コンソーシアム京都共通閲覧システムでは、身分証（学生証・教職員証）等の提示のみで、加盟大学・短期大学の図書館が所蔵する資料の閲覧を中心に利用することができます。

共通閲覧システムの情報はこちらから確認することができます。

⇒大学コンソーシアム京都HP【 <http://www.consortium.or.jp/project/sg/library> 】

★ 身分証（学生証・教職員証）のみで閲覧可能な近隣の大学図書館

京都造形芸術大学芸術文化情報センター・立命館大学図書館・京都産業大学図書館 など